
入江さちえ

後援会だより



後援会 会長 栗屋 三郎

平成29年第1回定例会議

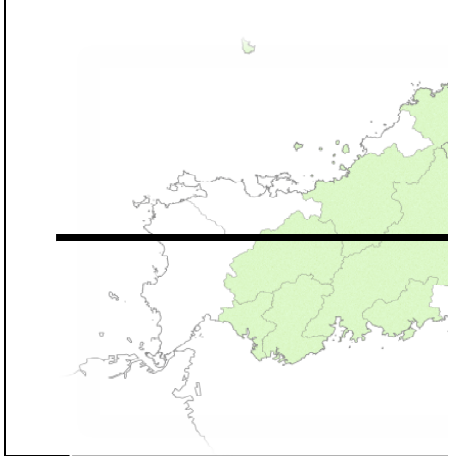
2月20日～3月16日

議会報告



ア 山口県央連携都市圏域の形成について

山口県央連携都市圏域（山口市・宇部市・萩市・防府市・美祢市・山陽小野田市）



の

②
答

ね

① 進捗状況と今後のスケジュールについて伺いました。

答弁 渡辺純忠市長

平成27年5月に本市と宇部市、防府市の市長が共同で県央部における連携中枢都市圏の形成が可能となるような要件緩和を国に対して要望し圏域形成の意向を表明いたしました。同年6月に市議会からも連携中枢都市の対象都市圏の要件緩和を求める意見書を可決され、関係者に対しご要望を頂きました。平成28年4月に国において隣接する2つの市を中心とした西型の連携中枢都市が新たに要件として追加され本市と、宇部市が連携中枢都市となる形で県央部における連携中枢都市圏の形成が可能となりました。6月から本市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、そしてお隣の津和野町の7市町による協議を実務レベルで重ねました。11月には、関係する市町で組織する山口県央連携中核都市圏域推進協議会を設置し第1回会議において本市と宇部市が連携中枢都市宣言、地方自治法に基づき各市町が締結連携契約、そして都市圏域ビジョンなどの確認を行い、連携中枢都市宣言書を私と宇部市長の連名により公表を發表させて頂きました。14名の民間委員委員で構成される「山口県央連携都市圏域ビジョン懇談会」が設置され山口商工会議所河野会、

は

ぼ、ね

ね

ぞ

2 ぶで

□

市、

で

で

